

アゲハチョウを通して自然の素晴らしさを感じてほしい

博物館和賀分館で開催の「世界のアゲハチョウ展」に標本を出品

高橋 光廣さん

高橋さん(60歳・上江釣子)は北上駅前で喫茶店を営みながら、趣味でチョウを収集しています。現在、博物館和賀分館で開催されている「世界のアゲハチョウ展」では、高橋さんの貴重なコレクションの中から61箱の標本が展示されています。

高橋さんが標本の作製を始めたのは高校生のころ。当時黒沢尻南高校の教員だった佐竹邦彦さんに標本の作り方を教わりました。教員を退職後、博物館の研究員となった佐竹さんとの付き合いは続き、毎年、夏に博物館で開催される企画展などを手伝ってきました。同展は高橋さんも企画から関わり、佐竹さんに助言をもらいながら2年前から準備を進めてきました。そんな中、佐竹さんが4月に急逝。高橋さんは佐竹さんの志を受け継ぎ同展の開催に尽力しました。佐竹さんからは50箱以上展示してほしいと言われていたそ



「世界のアゲハチョウ展」(9月30日まで開催)
 ところ: 北上市立博物館和賀分館
 開館時間: 午前10時~午後4時
 問い合わせ: ☎ 0197-64-1756

うで、「61箱展示できたので約束を果たせたと思う」と恩師を偲びます。

注目の展示を尋ねると「全て見てほしいですが、その中でも台湾のコウトウキシタアゲハはとても貴重」と話します。同アゲハは台湾では天然記念物と同じ扱いで、現在は国外への持ち出しができません。展示品は30年ほど前に台湾に農業支援員として渡っていた人の遺品から見つかったもの。保存状態が悪かったものを高橋さんが譲り受け、修

復し標本にしました。

世界中のチョウを集めているという高橋さん。「標本を作るのも楽しみのひとつですが、実際に山で自然の中を飛んでいる綺麗なチョウを見ることも好き」と目を細めます。自身の標本をこれだけまとめて披露するのは今回が初めて。「多くの人に見てもらい、アゲハチョウを通して自然の素晴らしさや大切さを感じてほしい」と思いを話していました。

☆どんなクラスですか？

- ・協力し合い笑顔あふれるクラス(脩)
- ・男女の仲が良くて家族みたい(翔)
- ・切り替えがよくて笑顔がいっぱい(瀬那)
- ・笑い合い、あいさつができる(慶悟)
- ・楽しくていつも笑顔のクラス(球衣)



やはた 八幡 かずのり 和典 先生



☆児童たちへのメッセージ

笑顔があふれ、困っている人に優しく接し、友達の良さを認め合える心温まる学級です。自分で限界を決めず、心も体も大きく成長していくことを願っています。

黒沢尻東小学校5年組

8月25日 #137

みんなの広場

あなたもこのページに登場しませんか？

各コーナーにご協力いただける人(自薦・他薦)を募集しています。
都市プロモーション課広報コミュニケーション係までお問い合わせ
ください。☎72-8230 ✉ promo@city.kitakami.iwate.jp



詩歌倶楽部

197

|| 中高生の詩歌 ||

雪が降りこたつが一つ皆来たる

梅木

翔也

向日葵の頂点みたくて背伸びする

千田

琴美

ゆきだるま次の日目ん玉落ちにけり

小野寺 亜利奈

(上野中学校三年)

※掲載した作品は、日本現代詩歌文学館内で展示しています。



新間 ^{よりちか} 頼睦 くん

平成29年4月27日生まれ
(柳原町)

お父さん 新間遼太郎さん
お母さん 亜耶さん

のびのび元気に育ってね
♪



佐藤 ^{せいや} 惺哉 くん

平成28年8月13日生まれ
(柳原町)

お父さん 佐藤 将仁さん
お母さん 亜祐美さん

いつもニコニコ笑顔があり
ありがとう♡
これからも元気いっぱい
のびのびと成長してね!



保育園に咲いているヒマワリと私を描いたよ。ヒマワリは黄色の花びらがきれいで大好き!

今月の
アーティスト
231



佐藤 ^{ひなた} 陽向 ちゃん
(口内保育園・5歳)

